



先輩職員の声

田中係員	（不動産・建設経済局 地価調査課）	・ ・ 1
小林係員	（都市局 公園緑地・景観課）	・ ・ ・ ・ 2
植田係長	（水管理・国土保全局 治水課）	・ ・ ・ ・ 4
宮下係員	（道路局 環境安全・防災課）	・ ・ ・ ・ 6
伊左治係員	（住宅局 総務課）	・ ・ ・ ・ ・ 7
原田係員	（鉄道局 鉄道事業課）	・ ・ ・ ・ ・ 9
松浦係員	（自動車局 貨物課）	・ ・ ・ ・ ・ 1 1
伊能係員	（海事局 内航課）	・ ・ ・ ・ ・ 1 3
山本係員	（観光庁 国際観光部国際観光課）	・ ・ ・ 1 4
加藤係長	（厚生労働省出向中）	・ ・ ・ ・ ・ 1 6

この国をつなげる。

未来をカタチにする。



田中係員

Q. 志望動機を教えてください。

私は、日本中を旅して全国を制覇するほど観光が好きです。それもあって、観光立国推進に関わる政策に携わりたいと思い始めたことが、国土交通省を知るきっかけでした。国土交通省を知っていく中で、私の地元が西日本豪雨の被害に遭った経験や大学で経済地理学（地域振興）を学んだ経験から「社会資本整備系統」を志望しました。



Q. 現在所属している課の業務内容、ご自身が担当している仕事内容を教えてください。

私は、不動産・建設経済局の地価調査課に所属しています。ここで、主に毎年3月頃に公表される「地価公示」と9月頃に公表される「地価調査」の業務に携わっています。特に地価公示は、国土交通省が主体となり一般の土地の取引価格に対して指標を与えるとともに、公共事業用地の取得価格算定の規準とする重要な役割を担っています。現在は、公表に向けて周りの方々に教えていただきながら業務に取り組んでいます。日常の業務に限らず、外部との委員会や課内で行われる会議を重ねていく中で、責任感を感じつつも充実した日々を送っています。

Q. 官庁訪問の思い出と、国土交通省を目指す方へのメッセージをお願いします。

国家公務員を目指し始めたのも、国土交通省に入省したいという思いからでした。しかし、筆記試験の点数に自信がありませんでした。その為、官庁訪問の序盤は行かず、他機関の試験を受験していました。結果、かなり遅れて官庁訪問を周り始めてしまいました。それでも、一員として業務に携わることができています。国土交通省を目指す皆さん、後悔をしない選択をしてください。頑張ってきたことは、必ず報われます。一緒に働くことができる日を心待ちにしております。

小林係員

Q. 現在所属している課の業務内容、ご自身が担当している仕事内容を教えてください。

私は現在、都市局公園緑地・景観課緑地環境室にて、緑化推進に関する業務を担当しています。地球温暖化対策や災害対策等、様々な役割を担っている都市の緑を守るため、都市緑化に関するイベントや、緑化の推進に顕著な功績のあった方々に対し、国土交通大臣による表彰を行っています。イベントでは皇室の御臨席を賜ることもあり、他省庁や自治体等、様々な関係者と連絡を取りながら、日々の業務を進めています。

また、庭園関係の業務として、海外にある日本庭園を修復する取り組みや、複数の庭園の連携により魅力的な体験を創出するガーデンツーリズムを推進しています。（ガーデンツーリズムは国土交通省ウェブマガジン「Grasp」でも取り上げられていますので是非ご覧ください！https://www.magazine.mlit.go.jp/hero/h_045/）



Q. 現在担当している仕事に限らず、今までで最も印象に残っている仕事を教えてください。



本年5月に開催された第33回全国「みどりの愛護」のつどいが印象に残っています。緑豊かな潤いのある住みよい環境づくりを推進すること等を目的とするものであり、新型コロナウイルスの影響により中止が続いていましたが、今回はオンラインを併用し開催しました。式典では、秋篠宮皇嗣同妃両殿下のオンラインによる御臨席の下、国土交通大臣からオンラインによる挨拶や感謝状の授与が行われました。

オンライン併用開催は初めての試みでしたが、開催地である奈良県・奈良市の職員の方々と協力し、滞りなく開催することができました。

現在、都市緑化推進イベントである「第39回全国都市緑化北海道フェア」が北海道恵庭市で開催されており、先日開会式に参加してきました。各イベント開催前は

関係者との調整が多く大変ですが、現地の様子を見る度にやりがいを感じています。

Q. ワークライフバランスを保つために心がけていることを教えてください。

デスクワークが多いので、お昼休みの時間は執務室から出てリフレッシュしています。国土交通省内の食堂も充実しているのですが、最近よく他省庁までお散歩しています。たまに、同僚と銀座で楽しくランチすることもあります(^ ^)



Q. 国土交通省を目指す方へのメッセージをお願いします！

国土交通省の仕事は、毎日のニュースで目にしない日がない程、様々な角度から国民生活に携わっています。スケールの大きい仕事がしたい方、やりがいのある仕事をしたい方、是非官庁訪問にお越しください！官庁訪問は緊張すると思いますが、皆様の熱意を存分に伝えてくださいね。

植田係長

Q. 現在所属している課の業務内容、ご自身が担当している仕事内容を教えてください。

河川の堤防やダム等のインフラ整備等を担当する水管理・国土保全局治水課の職員です。私は、地方分権、規制緩和の課窓口や特定都市河川浸水被害対策法に係る業務をしています。気候変動により水災害は頻発化、激甚化しており、同法に基づく「流域治水」への取り組みは一層重要になっていくと思います。



Q. 現在担当している仕事に限らず、今までで最も印象に残っている仕事を教えてください。



政権交代時に、ダムによらない治水について有識者会議の事務局をしていた時が最も忙しく印象に残っています。世間の注目度も高かったので、タイムリーに業務内容が報道されるなど緊張感のある毎日でしたが、政策決定への国民の反応がダイレクトにわかることで、国民に対していかにアカウンタビリティを果たしていくか意識することの大切さを学びました。また地方整備局に出向した際には、国の交付金等の完了検査を担当し、河川のインフラ整備が現場でいかに行われ効果を発揮しているか直に見ることができ勉強になりました。

Q. ワークライフバランスを保つために心がけていることを教えてください。

現在、0歳と3歳の子供を育てながら働いており、忙しい毎日の目標は子供も親も笑顔を忘れずハッピーに過ごすことです。そのため、仕事もやりがいを感じられるようしっかりとしたいですし、逆に仕事が忙しすぎて子供に皺寄せが行かないように上手くバランスをとらないといけません。復帰前後に上司や人事担当者と相談し、早出勤務、休憩時間の短縮、育児時間の制度を組み合わせ、勤務時間を8:30-16:00としています。正直、子供が増え、毎日慌ただしいですが帰宅後に子供とゆっくりお風呂に入りながら1日の話を聞くなどほっとできる時間も一応確保できているのでよかったと思っています。実



際の業務では、週1日をテレワークにし、通勤時間を業務にあてることで業務を効率よく行っています。また上司と情報共有を密にすることで急な子供の発熱等でも対応できるよう進めています。最近では、育児中の職員だけでなく職場全体でテレワークが浸透していますし、男性職員が育児休業等を取得することも増えており、ライフステージごとに働き方を変えることが自然に行えるようになってきたと感じています。

Q. 国土交通省を目指す方へのメッセージをお願いします！

私たちの仕事は生活に密接に関わっています。朝起きて通学して寝るまで、意識して生活すると様々な所で活躍していることが肌で感じられると思います。（子供にも説明しやすいです。）生活に直結しているため、世間の関心が高いです。担当業務について直接国民の方からご意見をいただいたりすることも多く、やりがいを感じるとともに責任感をもって取り組まねばと、大事なモチベーションになっています。春からはみなさんと一緒に働けることを楽しみにしています。

宮下係員

Q. 志望動機を教えてください。

国土交通省の業務説明会を受けたときに、国土交通省行政の幅広さに関心を持ちました。社会資本整備という生活基盤に対する施策を通じ、様々な社会問題に対してアプローチができる点にも興味を持ち志望しました。

官庁訪問で職員の方々とお話しさせていただき、良い雰囲気を感じ取れたことも入省の決め手となりました



Q. 現在所属している課の業務内容、ご自身が担当している仕事内容を教えてください。

私の所属している道路局環境安全・防災課は、道路における無電柱化の推進や環境対策、交通安全対策、地方道整備等への補助事業、地震や豪雨・豪雪等の対策事業を担当しています。その中で私は、国会関係の業務や庶務、他課との連絡・調整を行う総務担当をしています。課内の業務全体に関わる仕事であり、知識もまだ浅く分からないこともありますが、周囲に質問しやすい



雰囲気もあって、日々たくさんのことを学ぶことができる職場です。業務と関わりのある内容がニュースで取り上げられていると、国土交通省という大きな組織で働いていることを実感することができます。

私は10月に入省したため不安なこともありましたが、局内の方々と話す機会が積極的に設けられていたり、研修等で同期と横のつながりもできたため、職場になじみやすかったです。

Q. 官庁訪問の思い出と、国土交通省を目指す方へのメッセージをお願いします。

官庁訪問は、待ち時間が長くとても緊張していました。職員の方々が親身に話を聞いてくださったため、多少落ち着いて話すことができたと思います。あまり難しく考えずに、会話を楽しむ気持ちで臨むことを心掛けていました。

国土交通省には、気さくで話しやすい方が多く、全体で協力し合う雰囲気があるので働きやすい職場だと思います。



伊左治係員

Q. 現在所属している課の業務内容、ご自身が担当している仕事内容を教えてください。

私は現在、住宅局総務課で総務係と企画調整係を兼任しています。総務系の仕事では福利厚生や旅費、長である局長の会議調整など幅広く業務に従事しています。一方企画調整係では主に国会業務に従事しています。国会業務では、国民から選ばれた国会議員の方からの資料の要求や対面で行う説明の調整などを行なっております。これらに基づいて行政の施策についての知識を深め議論される国会議員も多く、結果的に法律は国民生活に影響を与えることも多いため、日々緊張感を持って対応しています。



Q. 現在担当している仕事に限らず、今までで最も印象に残っている仕事を教えてください。



国家公務員である限り、国会は自身の生活に密接します。それを踏まえ今まで最も印象に残っていることは大臣官房の“国会連絡室”という部署で2年間働いたことです。主に国会議事堂が勤務地となりますが、国土交通大臣の他にも総理大臣や官房長官などTVの中の人物と同じ場所で働きます。基本的に国会審議が円滑に進むよう大臣や政府の局長等のアテンドや、今後国会がどうなっていくのか、今の中心的話題は何なのかを把握して本省へ共有していくため、情報共有の正確性と速報性が求められます。国交省だけでなく各省庁にも国会連絡室があり、普段出会えない省庁の仲間と出会うことも貴重な体験です。

Q. ワークライフバランスを保つために心がけていることを教えてください。

普段はデスクワークで身体を動かす機会が少ないので、休みの日はフットサルやバスケットボールをすることがあります。その他にも趣味の料理や楽器、韓国ドラマや、サウナなど充実した休日を過ごすことでリフレッシュしています。



Q. 国土交通省を目指す方へのメッセージをお願いします！

国土交通省はインフラ分野や鉄道など、一人一人の生活に必要な幅広い生活基盤を守っていく重要な役割があります。日々の業務を身近に感じつつ成長することができる職場ですので、是非国土交通省に興味を持っていただければ嬉しいです。一緒に仕事に携われる日をお待ちしています。

原田係員

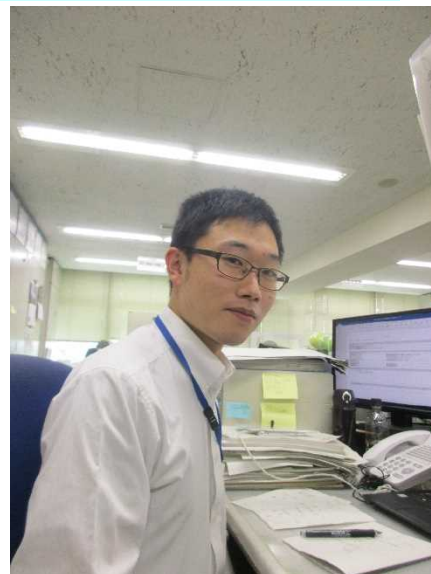
Q. 現在所属している課の業務内容、ご自身が担当している仕事内容を教えてください。

鉄道局参事官(機構監督・地域調整)室に現在私は所属しております。

鉄道局参事官(機構監督・地域調整)室は、大きく分けると2つの業務を担当しております。①独立行政法人鉄道建設・運輸施設整備支援機構(以下「JRTT」)の監督に関する業務、②整備新幹線の並行在来線に関する業務の2つです。その中でも私は、①JRTTの監督などに関する業務に携わっております。

JRTTと聞いて、聞きなれない方も多いかと思います。簡単に説明すると、JRTTとは、新幹線や都市鉄道を建設することや、地域鉄道への支援などを行う機関です。(詳しくはインターネットなどでぜひ調べてみてください!!)

さて、JRTTは公共交通機関における役割が小さくありません。その中で、JRTTのお金の流れなどを監督することや業務のサポートをすることで利便性の確保などの面で社会に影響が表れていくことと考えております。



Q. 現在担当している仕事に限らず、今までで最も印象に残っている仕事を教えてください。



参事官(機構監督・地域調整)室に異動する前には鉄道局総務課内で国会担当の部署に属しておりました。

鉄道は、多くの人々の関心も高く、国会議員からもたくさんの質問が来ます。その中で、コアな質問やそれに対する回答などを通じて鉄道局にいないと知ることがなかったであろう鉄道分野の知識を得ることができたことは面白さを感じたところでもあります。

また、鉄道局内の一部署だけでは解決できない課題を投げかけられることもありました。そこで、多くの局員を巻き込みつつ、課題解決に向けて取り組んだことは大きなやりがいを感じたところでした。

Q. ワークライフバランスを保つために心がけていることを教えてください。

よく寝ること。これがストレス解消手段の一つです! 入省する前は、国土交通省に入

るためには睡眠が趣味などと言ってはいけないと言われておりました。しかし入省してある程度分かってきた今だからこそ大きな声で言えます。睡眠は私の趣味の一つです(笑)

Q. 国土交通省を目指す方へのメッセージをお願いします！

ニュースを見ると、たびたび国土交通省の名前を聞きます。国土交通省がかかわっている分野の広さに驚くことも少なくありません。つまり、それだけできることがあるということです。やりたいことは無限大それが国土交通省の魅力です！

松浦係員

Q. 現在所属している課の業務内容、ご自身が担当している仕事内容を教えてください。

私が所属する自動車局貨物課は、トラック運送業を安全かつ適正に行う上で欠かせないルールを定めた貨物自動車運送事業法を所管しており、トラック事業者をサポートするための取組を行っています。ドライバーの労働環境を改善するためのガイドラインを作成したり、トラック事業者の現状を理解していただくための周知活動等を行っています。その中で私は、貨物課の活動の原資となる予算の確保や、トラック運送業の根幹であるトラックの購入補助などを主に担当しています。また最近では、カーボンニュートラルや手続きのオンライン化についての取組に関わることもあり、責任を感じますが、様々な形の業務に携われることに大きなやりがいを感じています。

Q. 現在担当している仕事に限らず、今までで最も印象に残っている仕事を教えてください。

これまで私が携わった業務は、国民と直接やりとりをすることが少なかったため、実生活との距離を感じていました。貨物課に異動になったときも分からないことばかりで、日々の仕事をこなすのに精いっぱいでしたが、自分が担当している補助金の対象装置を付けたトラックを実際に街中で見たとき、自分の仕事が身近なところで形になっていることを実感し、やりがいを感じるようになりました。まだまだ上司や先輩に支えられてばかりですが、分からないことは積極的に調べたり、聞いたりして解決できるよう努力しています！

Q. ワークライフバランスを保つために心がけていることを教えてください。

疲れたときは美味しいものを食べることにしています！上司や先輩が気さくに声をかけてくださるので、仕事終わりに飲みに行くこともあります（コロナ前）。

休日は家でのおんびり本を読んだり、運動をしたりと、自分の時間を大切にしています！



Q. 就職活動を通しての思い出を教えてください。

私は国土交通省の他に他省庁、地方自治体も併願しておりました。転職を決意した

際に「次は一生働ける場所がいい」と考えておりましたので、色々と訪問して各組織の空気の違いを感じられたのは良かったと思います。面接の準備として「白書」を熟読しました。その省庁や自治体は何をしているのか具体的に書かれていて、ネットで簡単に読めますのでおすすめです。官庁訪問の際は待ち時間で周りの人と雑談をしていました。面接は複数回行われますので情報交換ができますし、待っている間に黙っていると面接でうまく話せない可能性が高いので迷惑にならない範囲で口を動かしておくのが良いでしょう。雑談の延長と考えリラックスして面接に臨んでいただければと思います。



Q. 国土交通省を目指す方へのメッセージをお願いします！

国の取組はたくさんありますが、特に国土交通省はインフラや運輸など、国民の生活に直接関わる業務が多く、大きなやりがいを感じることができます。将来皆さんと一緒に仕事ができる日を楽しみにしています！

伊能係員

Q. 志望動機を教えてください。

私は幼い頃から地域の祭りに参加したり、学生時代に全国の様々な場所に旅行したりする中で、観光に対して興味関心を抱き、仕事としても携わりたいと考えていました。同時に、地域間の移動手段としての交通インフラの重要性に気づかされる場面も多々ありました。そこで、観光・交通の両面から国の政策に関わることのできる国土交通省（モビリティ・観光立国系）が魅力的に映り、志望しました。

Q. 現在所属している課の業務内容、ご自身が担当している仕事内容を教えてください。



現在、国土交通省海事局内航課に所属しています。内航課では、国内を運航する貨物船・旅客船に関わる様々な業務を行っていますが、その中でも私は企画班として仕事に取り組んでいます。総務課企画室や他課・他局からの各種照会を受け、課内の他班に作業依頼を行いとりまとめる役割を果たしています。現在の主な業務内容としては、メールの確認や他班から提出を受けた資料に誤りがないかのチェックがあります。まだ慣れないことも多いため、業務上で困ったことがあった場合には班の先輩にすぐにお聞きし、間違いがないよう丁寧に業務を遂行することを心がけています。

Q. 官庁訪問の思い出と、国土交通省を目指す方へのメッセージをお願いします。

官庁訪問では、限りある時間の中でどれだけ熱意を伝えられるかが重要だと感じます。私が官庁訪問をした際の雰囲気は思っていたよりも穏やかで、普段通りの自分で臨むことができたのを覚えており、内定を頂けた時はとてもうれしかったです。官庁訪問、また筆記試験・人事院面接など大変なことも多いとは思いますが、国土交通省の一員としてみなさんと一緒に働けることを楽しみにしています。



山本係員

Q. 志望動機を教えてください。

学生時代の海外旅行や国内旅行などの経験を通じて、経済成長や国同士の相互理解など、様々な波及効果をもたらす観光分野に携わりたいと考えました。そこで、観光分野に最も包括的に携わることができる国土交通省を志望しました。また、説明会の際に出会った職員の方がご自身の仕事に熱い思いをお持ちで、やりがいを感じている様子が感じられたことも理由です。



Q. 現在所属している課の業務内容、ご自身が担当している仕事内容を教えてください。

観光庁では、JNTO を通じた海外への訪日プロモーションや観光産業への支援、地域の観光資源の磨き上げ支援等の施策を行っていますが、私が所属する参事官室（外客受入担当）では外国人旅行者の受入環境整備を所管しています。私はその中で窓口業務（政策の企画立案や庁内調整）を行っており、室内のほぼ全ての膨大な案件が窓口を通じて展開されるので、漏れのないように注意して案件処理をするよう心がけています。



観光庁は民間企業などからの出向者が数多く在籍しているため、活気に満ちた雰囲気があり、刺激的な毎日を送っています！繁忙期は夜遅くまで業務を行う日も多いですが、観光は世間からの注目度が高い分野なので、緊張感とやりがいを持って業務を行っている職員の方が多い印象です。

Q. 官庁訪問の思い出と、国土交通省を目指す方へのメッセージをお願いします。

国交省はインフラ整備やまちづくり、防災や観光まで所管が幅広く、様々な分野に携わることができるため、自分を成長させることができるスケールの大きな職場だと思います。

官庁訪問では、その場で出会った同期と今も同じ職場で働いているので、官庁訪問での出会いは大切にするという



と思います。官庁訪問は緊張すると思いますが、皆さんも是非頑張ってください！皆さんと一緒に働ける日を心待ちにしています。

加藤係長

Q. 現在所属している課の業務内容、ご自身が担当している仕事内容を教えてください。

令和 3 年 4 月から厚生労働省に出向しています。所属している生活困窮者自立支援室は、生活困窮者自立支援法に基づき相談・居住・就労・家計・子どもに関する支援を実施し、生活困窮者の自立を支援しています。そのうち、私は「居住支援」について、住居確保給付金という事業を担当しています。収入が減少し、家賃を支払えず住まいを失うおそれのある人たちに対し、この給付金を活用していただき、住まいを安定させて就労に専念していただくことで自立のお手伝いをしています。コロナ禍ではこうした人たちがたくさん相談に来られ、より多くの人たちに給付金を活用して頂けるよう運用の改善を図り、コロナ以前と比べて何十倍も活用していただきました。



Q. 現在担当している仕事に限らず、今までで最も印象に残っている仕事を教えてください。

ホームレス支援の現場を視察した時の出来事がとても印象に残っています。ホームレスの人たちは社会との関係が途絶しており、支援を用意したとしても、まずは支援者との信頼関係を構築することから始めないと、支援を利用してもらえないことを知りました。それは、実践の中に制度設計などのヒントが落ちていることを気付くきっかけになった大切な出来事でした。これをきっかけに、制度などを企画・立案する際には、実際の現場を見て、また、制度を国民生活へ確実に届けるためにはどうしたら良いか、実践者の声を必ず聞くよう心がけるようになりました。このように心がけて取り組んだ施策を全国展開して、国民へ届けることができる国ならではの仕事にとってもやりがいを感じています。

Q. ワークライフバランスを保つために心がけていることを教えてください。

仕事で行き詰まった時は、思い切って仕事を切り上げて趣味の読書をしたり、休日はキャンプなどして頭を切り換えていると、ふとした時に良いアイデアが思い浮かびますので、皆さんも是非バランスを心がけてください。

Q. 国土交通省を目指す方へのメッセージをお願いします！

国土交通省は国民生活を最も土台から支えている組織であり、その所掌範囲は膨大であり、また、私のように他省庁や、自治体等への出向の機会もあります。やり

がいを感じられる仕事がきっと見つかるはずです。皆さんと一緒に働けることを職員一同心から願っています。